

研究の概要

1 研究主題

自ら学び続ける子どもの育成

～一人一人が知識を働かせ、思いをつなぐ子どもをめざして～

2 主題設定の理由

令和6年度から、多様化する一人一人の子どもについて指導者がより理解を深め、個性を尊重して支援・指導に取り組むことにより、子ども達の資質や能力を一層伸ばすことができるのではないかという考えのもと研究を進めている。

令和7年度については、豊田小学校の子ども一人一人を大切にし、子ども達が安心してのびのびと学ぶことができるようにする「個別最適な学び」に重点を置き、知識や考えを仲間とつなぎ合いながら深めていく「協働的な学び」と関わらせながら、各教科で研究を進めてきた。特に、研究主題のサブテーマ【一人一人が知識を働かせる姿】【思いをつなぐ子どもの姿】の具現化をめざして、研究を深めてきた。

3 研究の重点について

令和7年度の研究より、【一人一人が知識を働かせている姿】については、〇〇(人・もの・こと)についての捉えを更新していく場面で見られた。また、【思いをつないでいる姿】については、子どもにとって、心が動いた場面で思いがつながる様子が見られた。また、縦(時間)と横(周囲)のつながりがたくさん見られた。

そこで、令和8年度については、【自ら学び続ける子ども】という原点に立ち返り、【自らまなびを立ち上げる子どもの姿を見出していく】という重点で研究を深めていく。

○自らまなびを立ち上げる子どもの姿を見出していく

【自らまなびを立ち上げる子どもの姿】は学習の中で、次のような場面が考えられる。

- | | |
|---------------------|----------------|
| ・自分事として、捉える時(～したい！) | |
| ・心が動く「ドキドキ・わくわく」の瞬間 | ・学習材と出会った時 |
| ・アウトプットをする時 | ・できない、上手くいかない時 |
| ・本時の学習を振り返った時 | |

子ども達が、主体的に学びに向かうことができれば、【自らまなびを立ち上げ】ていくことができると考える。そのためにも、子どもの個性や、学習の単元や場面ごとに子ども達一人一人の思考の段階について指導者が理解し、個別最適な学びとはなにか、どのような手立てがあるのかを考えて教材研究を行う。子ども達の疑問や願いから学習をスタートし、学習計画の見通しを共有することで、必要感をもって主体的に学びをつくっていきけるようにする。

また、思いをつなぐ(縦、横)ことで、考えを広げたり深めたりすることができるようにする。これまでの研究【一人一人が知識を働かせる姿】【思いをつないでいる姿】をベースにした上で、子ども達一人一人が、感じ・考え・実感を伴いながら、【自らまなびを立ち上げていく姿】を我々教員が見出していくようにする。

4 研究方法について

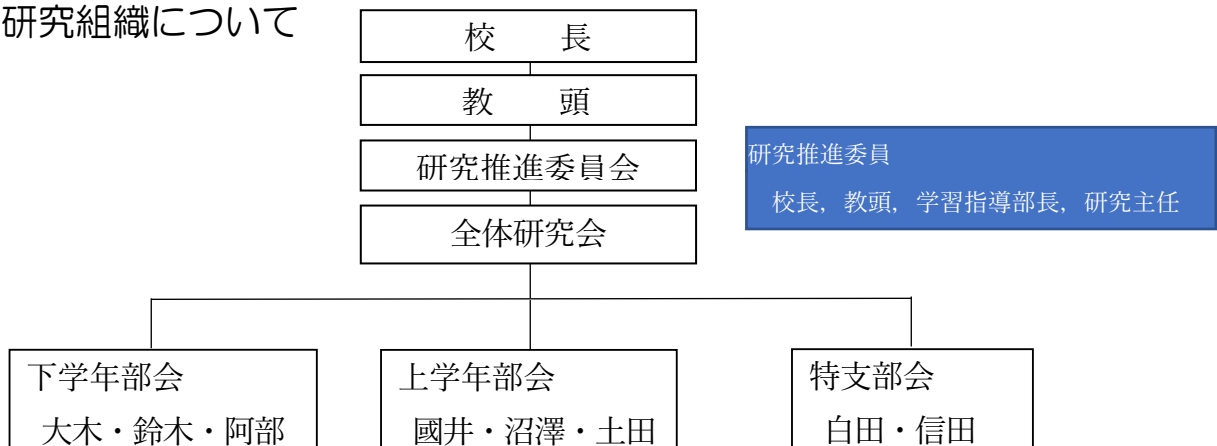
(1) チームとして授業研究と実践に取り組む

- ① 学習する单元において，【自らまなびを立ち上げていく姿】について，指導者が期待する姿，その姿を引き出す手立てを指導案に明記して検証し，変容した子どもの姿や子どもの育ちを評価し授業改善に生かす。
- ② 【上学年部】，【下学年部】，【特別支援部】で，それぞれ1授業を公開する。助言者を招聘し，教科の専門性や，子どもや学級全体の変容に焦点を当てて，指導助言していただく。その他の授業については，校内のみでの公開授業とする。
 - ・授業者以外は，サポートに回る。
 - ・【特別支援部】についての事前研，事後研は，該当児童の交流学級担任も参加する。

(2) 研究の具体的な進め方

- ① 指導案の作成…今年度の重点について，期待する姿とその手立てをまとめる。
- ② 全校授業研究会について
 - 事前研（推進委員＋該当学年部）…研究の重点に沿った学習かを検討する。
 - 授業研究会…研究推進委員で役割分担し，子どもの姿を写真で記録する。
 - 事後研…今年度の重点について，助言者より指導助言をいただく。
- ③ 授業公開について
 - 事前研（該当学年部）…研究の重点に沿った学習かを検討する。
 - 授業公開…学年部で子どもの姿を写真で記録する。
 - 事後研…今年度の重点について，参観者で振り返る。
- ④ 事後研だよりの発行…事後研後，授業者が協議内容と指導助言をまとめ，単元終了後，全員に配付する。
- ⑤ 研究紀要…自分の実践（学習指導案と事後研だよりの）をまとめる。校内研究として全体で振り返り，次年度の研究へとつなげていく。令和8年度より，データで保存する。

5 研究組織について



6 研究計画について

月 日	主な活動内容	
4 / 6 (月)	第1回 研究全体会	今年度の校内研究について
6 / 1 (月)	外国語活動研修会	山形大学地域教育文化学部 教授 佐藤 博晴 様
7 / 14 (火)	第1回 授業研究会 授業者：鈴木 泰佐 (2年：算数)	
10 / 27 (火)	第2回 授業研究会 授業者：沼澤 航太 (5年：国語)	山形大学大学院教育実践研究科 教授 三浦 登志一 様

12 / 1 (月)	第3回 授業研究会 授業者：信田 皓輝 (3・5年：自立活動)	山形大学大学院教育実践研究科 教授 三浦 登志一 様
1 / 25 (月)	第2回 研究全体会	今年度の振り返り，来年度の研究の見通しについて
3月	研究紀要は発行せず，データにて保存	

※研究推進委員会は随時行う。

7 研究全体構想図

